

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 5 部門第 2 区分
 【発行日】平成 18 年 10 月 19 日 (2006.10.19)

【公開番号】特開 2005-226753 (P2005-226753A)
 【公開日】平成 17 年 8 月 25 日 (2005.8.25)
 【年通号数】公開・登録公報 2005-033
 【出願番号】特願 2004-36437 (P2004-36437)
 【国際特許分類】

F 1 6 H 15/38 (2006.01)

C 2 1 D 9/00 (2006.01)

【F I】

F 1 6 H 15/38

C 2 1 D 9/00 A

【手続補正書】
 【提出日】平成 18 年 9 月 5 日 (2006.9.5)
 【手続補正 1】
 【補正対象書類名】明細書
 【補正対象項目名】0 0 0 6
 【補正方法】変更
 【補正の内容】
 【0 0 0 6】

トロイダル型無段変速機 1 の運転時において、入力側ディスク 3 と出力側ディスク 4 には、各パワーローラ 5 との押し付け合いに基づいて複雑且つ大きな力が繰り返し加わるため、各ディスク 3, 4 の所定の部位には引張り応力がかかる。例えば、トロイダル型無段変速機 1 の運転時には、パワーローラ 5 から出力側ディスク 4 の内側面 4 a に F なるスラスト荷重が加わる (図 6 の A 点参照。)。そして出力側ディスク 4 は、このようなスラスト荷重に基づいて弾性変形し、その結果、図 6 の B、C 部に、大きな引っ張り応力が集中して加わる。これら引っ張り応力の加わる部位は、トロイダル型無段変速機の運転に伴う出力側ディスク 4 の回転に基づき、円周方向に移動する。従って、円周方向に関して或る一部分に注目した場合、当該部分には大きな引っ張り応力が繰り返し加わる事になる。このような引っ張り応力が繰り返し加わる事は、入力側ディスク 3 に関しても、ほぼ同様である。この様にして入力側、出力側両ディスク 3、4 に繰り返し加わる引っ張り応力は、これら入力側、出力側ディスク 3、4 に割れ等の損傷を発生させる原因となる。